

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	観光学		
担当者(Instructors)	宮本 佳範	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

観光は、身近なレジャーであるだけでなく、国も力をいれる重要な産業です。また、「観光学」として学問の対象にもなっています。本講義はそんな観光について、職業として、そして学問として考えていくための基礎的な知識、観光学の基礎を身につけることを目的としています。具体的には、観光関連用語、観光の歴史、観光の効果、サービスの基礎知識などを学びます。なお、本講義は観光実務士プログラムの必修科目になっています。観光実務士プログラムに少しでも関心がある学生は履修するようにしてください。詳しいことは初回に説明するので必ず出席すること。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	一般的な講義形式で行います。埋め形式のレジュメを配布します。毎回、簡単なまとめのレポートを書いてもらいます。原則すべて対面で行う予定ですが、必要に応じてメディア授業を取り入れる場合もあります(7回以内)。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	観光についての学びの概要	大学における観光についての学びについて解説する。	<input type="checkbox"/>
第2回	観光とは	観光の定義や語源などを学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第3回	観光の歴史(日本)(1): 古代~江戸	平安~江戸時代までの観光について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第4回	観光の歴史(日本)(2): 明治~現代	明治以降の観光の発展について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第5回	観光の歴史(外国)	海外の観光の歴史について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第6回	観光のプラスの効果	観光にはどんなプラスの効果があるのかを多面的に考える。	<input type="checkbox"/>
第7回	前半の復習と小テスト	前半の講義を復習するとともに、知識確認の小テストを行う。	<input type="checkbox"/>
第8回	旅行業について	旅行業の役割等について説明する。	<input type="checkbox"/>
第9回	観光地の類型と特質	日本の観光地を類型化し、その特徴について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第10回	体験型観光と様々なツーリズム	多様化する観光の現状を知る。	<input type="checkbox"/>
第11回	観光とまちづくり	観光まちづくりを担う組織・役割などを知る。	<input type="checkbox"/>
第12回	サービスとサービス業	サービスとサービス業に関する基本的な定義・性質を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第13回	サービスとホスピタリティ	サービス・ホスピタリティの意味を代表的事例から考える。	<input type="checkbox"/>
第14回	後半の復習と小テスト	後半の講義を復習するとともに、知識確認の小テストを行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	フィードバックとまとめ	小テストのフィードバックおよびまとめを行う。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

各回の内容に関連する事項を2時間程度予習し、講義に望む。講義後は、レジュメおよび講義のメモを参考にして2時間程度復習し、知識を定着させる。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回のまとめレポートについては、その改善点などを必要に応じて授業時間内にフィードバックする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
--------------	-------------------	-----------------

知識・技能	◆ 2021地域ビジネスDP1	観光に関する基礎知識を幅広く身につけ、説明できる。
-------	-----------------	---------------------------

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 授業内試験 (40%) は、小テストを2回 (各20%) による。その他(60%)は、授業のまとめレポート等で評価します。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし。適宜プリントを配布	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて紹介します。	
2		
3		
4		
5		